

# 米沢工業会報



## 牛の給餌

会誌と会報の表紙担当者は別な人と心得ていたので、会報は無いものと高をくくっていた。

編集会議で委員長から「会報の表紙も担当してくれ」の一言で「青天の霹靂」やむを得ず、発行日を考慮して初冬の写真を探し出した1枚である。

今、山形県の農業を中心に風景写真を撮っている。その一環である。米沢牛は置賜一円3市5町で飼育されており、この地での生産は全て米沢牛である。この写真は南陽市・宮内の北方（吉野川上流）小滝での撮影である。

朝の給餌の様子であるが、冬は暖房の為全面が覆われていて中の様子を伺う事は出来ないが、カメラを意識することなく給餌していることに私としては微笑ましく思っている。

間もなくこの地は雪深い冬の訪れである。

鈴木 孝制

第62号 2017.12.